

よむよむ

十日町情報館 〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1
TEL: 025-750-5100 開館時間: 午前9時～午後7時
休館日: 第2・4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)
各分室の開館カレンダーは、「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。

WebOPAC



Instagram



【ふるさと写真展】

仁田むかしむかし

『新編会津風土記』(1803～1809編纂)に、「何の頃にか仁田荘司と云ふ者此地に住せし故、村名これに因る」と記され、また湿地を示す「ニタ」による地名ともいわれる十日町市川西地区の仁田(にた)集落。地域出身のアマチュア写真家・木村喜郎さんが撮影した、昭和30年代から平成にかけての懐かしい写真を展示します。

期 間／8月13日(木)～23日(日)

会 場／情報館2階 ギャラリー

第111回名作読書講座

『落日燃ゆ』城山 三郎／著 (新潮社)

日 時／8月23日(日)

午後2時～3時15分

会 場／情報館1階第1集会室

対 象／中学生以上

講 師／庭野三省さん

定 員／25人(申込み不要)

【令和8年度 情報館主催 パソコン講習】

エクセル初級コース

グラフ・表計算・予定表などの作成をします。

日 程／9月8日(火)、10日(木)、15日(火)、17日(木) ※全4回

午後7時～9時

対 象／文字入力、マウス操作ができる人

受講料／5,000円(テキスト代込み)

会 場／情報館1階 コンピュータ研修室

定 員／先着11人

申込み／専用チラシの申込用紙に記入してお持ちください。電話・FAXでもお申込みできます。

第175回芥川賞・直木賞発表！

芥川龍之介賞

小砂川チト『ゾンビ回収婦』(講談社) **所蔵予定**

直木三十五賞

朝倉かすみ『けんぐわい』(光文社) **所蔵あり**

※貸出中の場合はご予約ください。

暑～い夏休みは 図書館で楽しもう！

●「本をかりて、ヨーヨーつり！」

本を3冊借りて、ヨーヨーをつろう。
ヨーヨーと景品を交換してね！

期 間／7月25日(土)～8月30日(日)

場 所／情報館児童コーナー、
川西分室、松代分室

対 象／幼児～小学生



●みんなの読書感想画

～この夏読んだ、この1冊 2026～

おもしろかった本、好きな本のイラスト
をかくて情報館にかざろう！

※川西分室・松代分室にも掲示予定

募集締切り9月6日(日)

閉架書庫を公開します

いつもは入ることができない閉架書庫(へいかしょこ)を公開します。当日1階カウンターにてお申し込みください。

日 時／8月16日(日) 午後2時～5時

(4時30分最終受付)

雑誌スポンサー募集中！

雑誌スポンサー制度とは

企業などから図書館が所蔵する雑誌の購入費用を負担していただき、最新号のカバーなどにスポンサー名や広告を掲載できる制度です。

～雑誌スポンサー紹介～

※令和8年8月1日現在(敬称略・順不同)
ご支援ありがとうございます！

(株)後藤電機	週刊文春
(株)フラワーホーム	Casa BRUTUS
(株)フラワーホーム	暮らしの手帖
(株)リユーク	n o n ・ n o
(株)クローバフォー	天然生活

雑誌スポンサーへのご参加をお待ちしています。
詳しくは、こちらをごらんください⇒



8月のおはなし会

() 内は対象、時間はすべて 10 時 30 分から

●情報館

8月1日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

8日(土)／おはなし「たまたまこ」(乳幼児)

15日(土)／読み聞かせの会 どうぐり
(幼児～小学校低学年)

22日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

29日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

●川西分室

8月はお休みです。

●松代分室

15日(土)／おはなしたんぽぽ
(幼児～小学校低学年)

事前申込みは不要です。
お気軽にご参加ください！



本のチカラ(28)



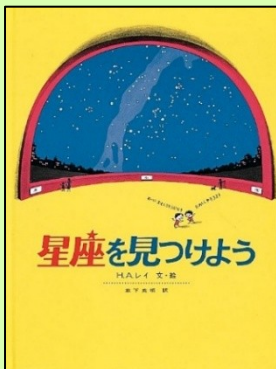
子ども読書活動推進コーディネーター
林 篤子

星座の本をご紹介します。

星座の見つけ方を易しく解説している絵本です。星に興味を持ち始めた頃に出会う本として、また大人でも、意外と知らなかったことがあり、楽しめるかもしれません。明るい星と暗い星があるという「光度等級」の話、星はラテン語かギリシャ語かアラビア語の名前がついていること、星座ごとの話、惑星や太陽系の話など、わかりやすく書かれています。豆知識やクイズも書かれており、飽きることなく楽しめます。

季節ごとの星図も描かれていますので、本を見ながら星座を探してみるのも楽しいと思います。

5000年前の夜空は今よりもずっと暗く、空気も澄んでいて星はもっと多く、もっと美しく輝いていたことでしょう。当時のひつじ飼いたちは、読み書きはできなくても、いつも星空に親しみ、星座のことを詳しく知っていたそうです。昔の人達は、星座の位置で、季節や、時間、方角を知ることができ、それは生きていく上でとても大切なことだったのだらうと想像します。



今見ている星々の光は、実は何百年も前に星が放った光なのです。例えばオリオン座のリゲルの光は 700 年もかけて地球に届いたものです。そんな壮大な世界のことを想像しながら夜空を見上げていると、心が解放され、宇宙まで広がり、気持ちも前向きになれるような気がしてきます。

最近、星空を見上げましたか？先月の七夕の夜は、満天の星空の中、織姫(こと座のベガ)と彦星(わし座のアルタイル)が輝いていました。今年は会えてよかったと、星空を眺めながら幸せな気持ちになりました。

子どものころから星空を眺めることが好きで毎日のように自分の部屋の窓から眺めていましたが、時間に余裕がある夏休みは、庭に出て、父や母とゆっくり星空を眺めた日のことを思い出しました。夜風が心地よかったことも。

今年の夏は、スマホやタブレットを閉じて夜空を見上げ、親子で星巡りをしてみてはいかがでしょう。きっと忘れられない素敵な時間になると思います。

『星座を見つけよう』

H・A・レイ／文・絵
草下 英明／訳
福音館書店
(児童一般・443レ)

テーマ図書

新しい本との出会いに♪

一般 「真夏の短編フェア」「夏をのりきる」「怪談特集」
「追悼 美輪明宏さん」「第175回芥川賞・直木賞」など

児童 「夏ってサイコー！」「おばけぞろぞろ」
「宿題はお早めに」「戦争と平和」など

※時期・内容は変更する場合があります。

家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。8月は16日です。ぜひ情報館の本をお役立てください。